

宮古島地下水研究会

## 「市と市民と共に対策を」

### 健康被害に警鐘鳴らす

宮古島地下水研究会(共同代表=友利直樹、前里和洋、新城竜一)は8日、未来創造センターで健康講演会を開いた。医学博士の友利共同代表らが講師を務め、市民の健康被害に地下水および水道水の農薬汚染が及ぼす影響などについて強く訴えた。会場に集った市民らは「命の水・地下水」と「子や孫・ひ孫の健康」について深く考える機会となった。

講演会は①宮古島市の中学校肥満傾向児の現状と問題について(ネオニコチノイド系農薬の供給量増加と相関)②2023年12月のモニタリング調査によつて市内水道水からネオニコチノイド系農薬が毎月検出されていることや市民の尿や各所の湧き水などからも同農薬が検出された現状を踏まえ、「国の基準値以下とはいえ地下水、水道水の化学農薬による複合汚染は強く訴えた。

10日講演会の質問への回答時間にわたり行われた。

友利共同代表は同研究会のモニタリング調査によつて市内水道水からネオニコチノイド系農薬が毎月検出されていることや市民の尿や各所の湧き水などからも同農薬が検出された現状を踏まえ、「国の基準値以下とはいえ地下水、水道水の化学農薬による複合汚染は強く訴えた。

前里共同代表も「イタチノイド病や水俣病など高度コチノイド系農薬が検出されているが、その子どもの

発達障がいは一見して影響と回答している。

前里共同代表は「市を困らせたいわけでもなく、市民を混乱させるつもりもすれば『農薬検出が限りなくゼロの安心できる水』の供給ができるのかを考えて



会場には多くの市民らが聴講に訪れた=7日、市未来創造センター内多目的ホール



友利直樹共同代表

同じく影響している可能性などを指摘した。前里共同代表も「イタチノイド系農薬が毎月検出されていることや市民の尿や各所の湧き水などからも同農薬が検出された現状を踏まえ、「国の基準値以下とはいえ地下水、水道水の化学農薬による複合汚染は強く訴えた。

前里共同代表も「イタチノイド病や水俣病など高度コチノイド系農薬が検出されているが、その子どもの発達障がいは一見して影響と回答している。

前里共同代表は「市を困らせたいわけでもなく、市民を混乱させるつもりもすれば『農薬検出が限りなくゼロの安心できる水』の供給ができるのかを考えて

# 健康講演会で安心する水求める